

公 示

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の
判断結果について

平成26年1月24日付け公示「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果を下記のとおり公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

令和7年8月29日

四 国 運 輸 局 長 田 村 顕 洋

記

令和 7 年度における需給状況の判断結果

都道府県	営業区域名 (交通圏)	必要車両数 (両)	令和 6 年度末 車両数 (両)	増加可能車両 数 (両)
香川県	高松	4 5 2	7 8 2	▲ 3 3 0
	中讃	1 7 3	3 2 3	▲ 1 5 0
徳島県	徳島	3 5 5	5 7 4	▲ 2 1 9
愛媛県	松山	6 1 0	8 8 7	▲ 2 7 7
	東予	1 1 6	2 1 8	▲ 1 0 2
	今治	1 3 3	2 0 7	▲ 7 4
高知県	高知	4 1 4	6 2 4	▲ 2 1 0

※上記「令和 6 年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（以下「タクシー特措法」という。）第 2 条第 9 項に定める事業用自動車（一般乗用旅客自動車運送事業（1 人 1 車制個人タクシーに限る。以下「個人タクシー」という。）を除く。）の数である。

附 則

本公示は、令和 7 年度の準特定地域における法人タクシー（一般乗用旅客自動車運送事業（1 人 1 車制個人タクシーを除く。)) の新規許可申請、条件解除の承認申請、営業区域の設定に係る事業計画変更認可申請、増車に係る事業計画変更認可申請、休車の解除に係る事業計画変更認可申請及び個人タクシーの新規許可申請について適用する。

1. 香川県

(1)高松交通圏

輸送需要量 A (最小二乗法により算定)	総実車キロ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
8,229,227	5,649,285	5,666,403	6,968,348	7,290,899	7,520,578

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
452	8,229,227	15,558,017	0.45	127,602	0.90

(2)中讃交通圏

輸送需要量 A (最小二乗法により算定)	総実車キロ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3,238,828	2,665,226	2,599,187	3,077,447	3,020,341	3,048,971

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
173	3,238,828	6,700,391	0.46	54,455	0.90

2. 徳島県

(1)徳島交通圏

輸送需要量 A (最小二乗法により算定)	総実車キロ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
6,287,334	5,116,717	4,655,411	5,803,929	6,153,382	5,702,606

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
355	6,287,334	12,580,116	0.47	108,869	0.90

3. 愛媛県

(1)松山交通圏

輸送需要量 A (最小二乗法により算定)	総実車キロ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
12,668,586	9,719,809	9,696,948	11,687,016	11,840,828	11,585,484

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
610	12,668,586	26,595,595	0.44	184,223	0.90

(2)東予交通圏

輸送需要量 A (最小二乗法により算定)	総実車キロ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2,614,353	2,261,797	2,267,021	2,477,623	2,555,389	2,465,694

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
116	2,614,353	5,636,369	0.48	39,453	0.90

(3)今治交通圏

輸送需要量 A (最小二乗法により算定)	総実車キロ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2,073,197	1,811,621	1,708,659	1,914,541	2,051,290	1,950,197

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
133	2,073,197	4,688,859	0.46	45,608	0.90

4. 高知県

(1)高知交通圏

輸送需要量 A (最小二乗法により算定)	総実車キロ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9,390,542	6,787,729	6,870,924	8,083,119	8,896,249	8,409,972

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
414	9,390,542	20,406,664	0.40	119,170	0.90

※「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。